

## 三沢基地研修に参加して

丸紅エアロスペース株式会社  
固定翼機ビジネスユニット  
青柳 尚隆

- ・研修期間：平成 21 年 3 月 5 日（木）～6 日（金）
- ・研修基地：航空自衛隊 北部航空方面隊 第 3 航空団等  
米空軍 第 35 戦闘航空団

幸い天気にも恵まれ、入間基地ターミナルより生まれて初めて C-1 輸送機に搭乗し、午前 10 時に三沢基地へ向け離陸しました。輸送機という事で、乗り心地に若干の不安を抱いていたものの、実際に搭乗してみると、思いのほか快適でした。恐らく機体の外観から先入観を持ってしまったのだと思います。

三沢基地到着後は、幹部食堂での昼食後、副司令官の講話として北部航空方面隊の昨今の活動状況につき貴重なお話を伺いました。土地柄なのでしょうか、ロシアとの防衛交流に関するお話が非常に印象的でした。その後、滑走路に移動し F-4 のラスト・フライトを見学させて頂く非常に貴重な機会に恵まれました。その後も、警戒航空隊での E-2C 研修、アラート地区での F-2 のデモ・スクランブル研修等、実機を目の前にしての研修は迫力があり、また日常生活では決して見る事の出来ない日本の北部における防空体制を肌で実感することができました。

夜のオフィサーズ・クラブにおけるディナーでは、米国式にウェイティング・バーでの一杯からスタートし、米国空軍及び航空自衛隊の幹部が参加されての非常に和やかなディナーとなりました。普段お目にかかることができない空自幹部の方と歓談することができ、また、閉会の乾杯という大役を仰せつかり、緊張もしましたが非常に楽しい思い出となりました。

二日目の米軍基地研修では、団司令のお人柄なのでしょうか、直々に基地概況や F-16 の実機研修をして頂き、大変光栄でした。その任務の重要性から常に緊張してミッションに取り組まれている様子を伺い知る事ができ、またそんな中も日米の懸け橋として積極的に取り組まれているお姿に感銘を受けました。

初日の副司令官のお話にもありましたが、三沢基地は北の防衛の要であるという事、また周囲の理解を得るため積極的に米軍との国際交流や地元住民の方々との交流を深めているという事を体感できた大変意義のある研修であったと感じております。お忙しい中、ご対応頂きました空自の方々や米軍の方々に心よりお礼を申し上げます。また、最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて下さった日米エアフォース友好協会の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

以 上